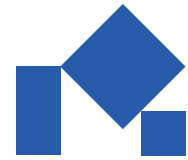


# Press Release



The Museum of  
Modern Art,  
Kamakura &  
Hayama

報道関係資料

2003年7月

神奈川県立近代美術館

神奈川県立近代美術館 葉山館  
開館記念

## コレクションによる 「もうひとつの現代展」

OPENING EXHIBITION

### ANOTHER HISTORY :

Contemporary Japanese Art from the Collection of  
The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama

- 会期 : 2003年10月11日(土) - 2004年1月25日(日)
- 休館日 : 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日
- 開館時間 : 午前9時30分～午後5時(ただし、入館は4時30分まで)
- 入館料 : 一般 800円(700円)  
20歳未満・学生 650円(550円)  
65歳以上 400円  
( )内は20名以上の団体料金です。  
高校生以下の方、障害者の方は無料で入館できます。
- 会場 : 神奈川県立近代美術館 葉山
- 主催 : 神奈川県立近代美術館

ご掲載いただく際のお客様お問合せ先

神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1

tel. 046-875-2800 / fax. 046-875-2968

URL: <http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/index.html>

**神奈川県立近代美術館 葉山**

詳細は葉山館・広報担当(稲庭・忌部・中里)まで  
tel. 046-875-2800 / fax. 046-875-2968  
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1

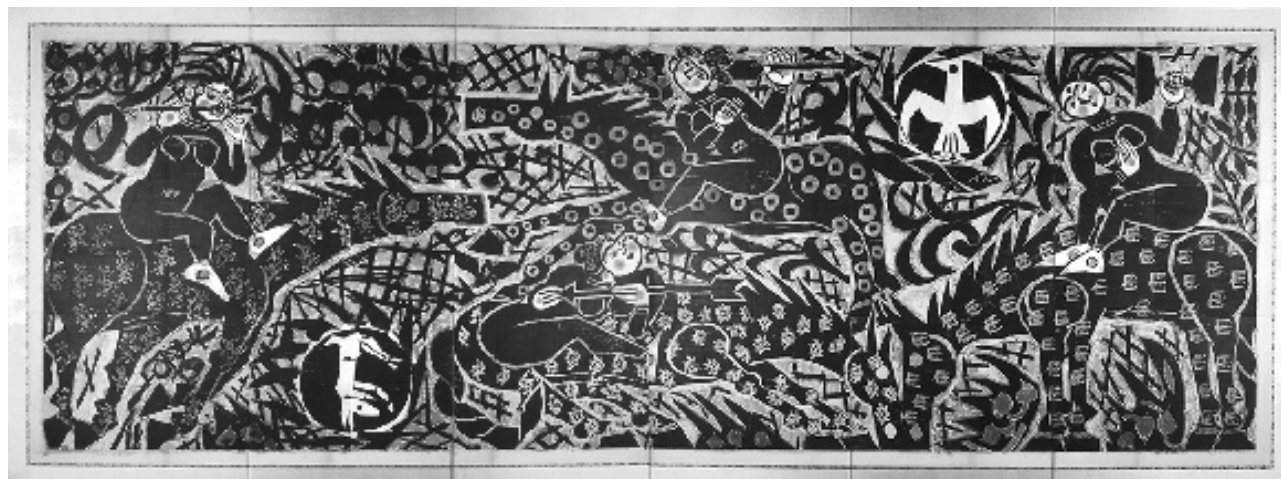
URL: <http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/index.html>

## 「もうひとつの現代展」

神奈川県立近代美術館の3番目の施設となる葉山館の開館を記念して「もうひとつの現代展」を開催いたします。

神奈川県立近代美術館は、戦後まもない1951年に日本で初めての公立近代美術館として創設されました。開館当初は、コレクションをもたない美術館として出発しましたが、数多くの展覧会を開き、同時代の美術につねに批評的な眼差しをそそいでくる中で、徐々に独自のコレクションを形成してきました。コレクションの性格と企画展との間には深い関連性が存在しているのです。

本展は、50年にわたる神奈川県立近代美術館の活動の中で形成されてきたコレクションを今日目から捉えなおし、新しい展示スペースの中でのそのあり方を探るとともに、20世紀後半の半世紀におよぶ現代美術の意味を再検証して、21世紀へのひとつの視座を提起しようとするものです。



棟方志功  
《花矢の柵》  
1961年 木版

展覧会は、敗戦後の文化的アイデンティティ崩壊の危機意識から生まれた新しい日本画の作家たち、戦中戦後の実存主義的な気分や社会への抵抗意識から生まれたさまざまな表現、さらには実験的な前衛精神をいち早く掲げた人々などを出発点としています。

つぎに来るのは戦後のあたらしい国際交流のなかで、ヨーロッパやアメリカに雄飛し、いわばコスモポリタンの視点から、普遍的な造形の課題に取り組もうとした人々であり、また、逆に、そうした西欧的基準によるグローバリズムにあえて背を向けて、濃密な情念、土着的な文化伝統にこだわりをもちつづけた作家たちです。

そして最後に来るのは、そうした軌跡の後に現われてくる現代の展望、身体と精神性、国際性と地域性、芸術とサイエンスなど両極間における往還そのものを生きて、フォーマリスティックなモダニズムの彼方への探求に対応しようとする作家たちです。



斎藤義重  
《鬼》

1957年 油彩

神奈川県立近代美術館は、変貌する現代社会にすどく対応する美術館活動を展開すると同時に、創造の現場と密接につながって、アーティストの人々とともに生きてきました。そのコレクションは、概念によって組み立てられた歴史よりももっと起伏に富んだ、生きた美術の変貌を映し出しています。

神奈川県立近代美術館所蔵の約 170 点の作品で構成された本展によって、新しい美術館の門出を記念し、あわせて現代日本美術の概略をたどり、将来への照射となる問題提起を行ないたいと考えます。

## 出品作家（予定、セクション別）

1. 山口蓬春、加藤栄三、高山辰雄など
2. 海老原喜之助、麻生三郎、朝井閑右衛門など
3. 斎藤義重、吉原治良、山口長男、山口勝弘など
4. 田淵安一、野見山暁治、今井俊満、菅井汲など
5. 棟方志功、中川幸夫、横山操、片岡球子など
6. 若林奮、李禹煥、高松次郎など
7. 個展開催という形で当館が深くかかわってきた個性的な作家たち

## 主要出品作品（予定）

- 山口蓬春《宴》1960年 紙本着彩  
加藤栄三《石庭》1955年 紙本着彩  
海老原喜之助《友よさらば》1951年 油彩  
麻生三郎《死者》1962年 油彩  
斎藤義重《鬼》1957年 油彩  
山口勝弘《ヴィトリヌ No.37》1953年 ガラスなど  
田淵安一《Ma belle presseuse》1964年 油彩  
猪熊弦一郎《ENTRANCE B》1964年 油彩  
棟方志功《花矢の柵》1961年 木版  
中川幸夫《魔の山》1989年 カラープリント  
横山操《波濤》1960年 紙本着彩  
若林奮《残り元素 I》1965年 鉄  
宮脇愛子《メグ MEGU》1972年 ガラス  
李禹煥《照応》1992年 油彩

# Press Release



The Museum of  
Modern Art,  
Kamakura &  
Hayama  
神奈川県立近代美術館



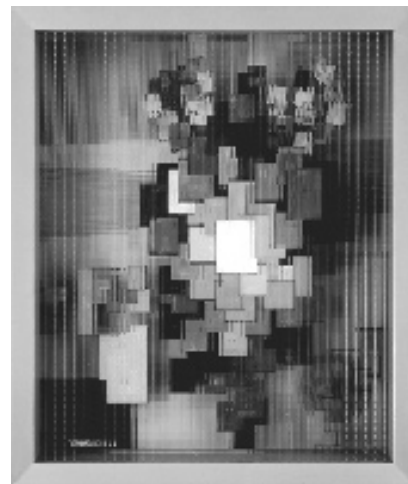
山口蓬春  
《宴》  
1960年 紙本着彩



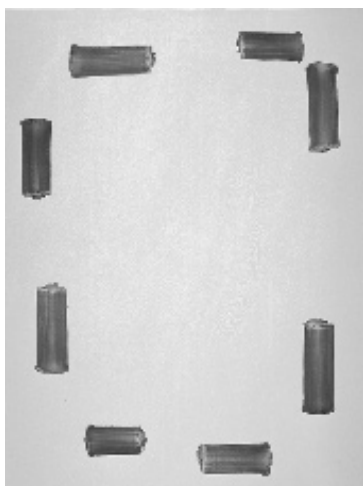
加藤栄三  
《石庭》  
1955年 紙本着彩



海老原喜之助  
《友よさらば》  
1951年 油彩



山口勝弘  
《ヴァイトリーヌ No.37》  
1953年 ガラスなど



李禹煥  
《照応》  
1992年 油彩



若林奮  
《残り元素 I》  
1965年 鉄